

戸田地区小中一貫校 推進委員会たより No.13

令和2年12月 発行
沼津市教育委員会事務局 教育企画課
所在地：沼津市御幸町16-1
電話：055-934-4821
FAX：055-931-8977
E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

日頃より本市の教育行政に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
今号では12月11日（金）、佐藤雅彦氏がオンラインで参加して下さった、
令和2年度第2回推進委員会の様子をお知らせします。



小中一貫校校歌・・・作詞：佐藤雅彦 作曲：栗原正己

11日の推進委員会では、完成前の校歌をお披露目しました。今回は、佐藤氏の作詞に込めた思いと、校歌を試聴した推進委員の皆さんの感想をお伝えします。

なお、作曲をして下さったのは、佐藤氏とともに多数のCMを手掛け、「栗コーダーカルテット」の一員としても活躍されている栗原正己氏です。

※12月18日（金）には、戸田や戸田の子供たちへの思いの詰まった歌詞が、ついに完成しました。しかし、佐藤氏からの「曲とともに歌詞を味わっていただきたい」という熱い思いがあるため、皆様へのお披露目につきましては、もうしばらくお待ちください。

作詞に込めた思い

大学の講義等で大変お忙しい中、オンラインで会議に参加して下さった佐藤氏からは、御自身が生まれ育った戸田のこと、戸田の子供たちへの思いなど、たくさんのお話を伺うことができました。ここではそのほんの一部となりますが、御紹介します。

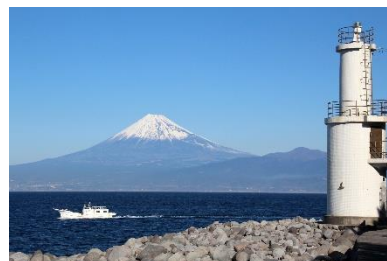
- ・戸田に対しては感謝の気持ちしかありません。どうか恩返しをしたいと思い、その一つとして頑張らせていただきました。私としては、100年、200年、300年と、戸田の子供たちに歌ってもらえるといいなと思います。また、自分の、戸田に対する感謝の思いが、うまく歌詞に入り込めればとも思っています。
- ・戸田を思うと、戸田の空気を思い出します。戸田に行くと、透明で清らかな空気がとてもありがたいと思います。小中学生の時には、素晴らしいという意識はありませんでしたが、戸田を一步出た時に、とても素晴らしいと感じるようになりました。そんな戸田の空気感を詞に込められたらと思いました。
- ・戸田というのは、世界や地球、宇宙から見たら本当に小さな所かも知れませんが、僕はここに居るのだと、すごく意識できた場所です。私や戸田の子供たちが抱く希望というのは、宇宙にも負けないという気持ちをいつも持っていました。
- ・もしかしたら、戸田を出る直前かも知れない卒業式に歌うことを思うと、戸田を慮る詞があっても良いかなと思って作りました。引き続き、一生懸命手掛けますので、温かく見守っていただければと思います。

小中一貫学校校歌のデモ音源を試聴した委員の皆さんの御感想

- 現在の「伊豆の海～」の中学校の校歌や、「東の空だるまのみね～」の小学校の校歌が、うまく入り込んでいて、素晴らしい詩だと思う。
- 率直に優しいメロディーだと思う。
- 当たり前に見られていることが幸せなことなのかなと感じ、小さな幸せをまた一つ見つけれられたような気分になれる歌詞であり、とても良かった。
- 一言一言、あんなに丁寧に考え込んで作ってくださっているということが伝わってきて、涙が出そうになった。
- 卒業式で思いを込めて歌えるのではないかなと思う。大人の私たちも歌いたくなった。
- 未来へ向かって進んでいくという勇気をもらえるような校歌だと感じている。

校歌としては、公表前であるため、歌詞の内容や曲の構成に関わる感想については、今回載せることができませんでした。

令和3年1月18日には、戸田小学校、戸田中学校の子供たちの手元に、楽譜と練習用の参考音源をお届けする予定となっています。楽しみにお待ちください。



【学校からの報告】戸田小中一貫学校開校に向けた取組の進捗状況

学校から、校舎等のハード面と、今年度から試行しているソフト面について、進捗状況の報告を受けました。

コロナ禍のため、様々な活動が制限される中ですが、令和3年4月の開校に向けて、順調に準備が進められています。

【ハード面】

- 12月14日（月）に新校舎が完成し引き渡しを行いました。
- 修了式後に現在の校舎から引っ越しますが、授業等に支障がない範囲で、少しずつ進めていきます。
- 会議室と多目的室については、外部へ貸し出す予定でいます。

【ソフト面】

- 学校経営目標〈自己肯定感の木を育てて 自己有用感の実を実らせよう〉
- 小学校の児童会と中学校の生徒会を合わせ、自治会を組織して委員会活動を行っていますが、子供たちは、工夫しながら取り組んでいます。
- PTA や集金についても、小中学校で一つとしました。
- 中学校の教師が小学校高学年の授業を受け持つことで、3、4年生の複式学級を解消した授業を行うことができます。

*これまでの取組は、沼津市ホームページに掲載しております。 →

